

# 授業公開シート（理科 2）

授業者 書き込み欄			
授業者	境原 周太郎	授業場所	3年B組教室
公開日	2019年 11月 1日 金曜日 6限	教科・学年	3年・理科
授業内容の簡単な説明		タイトル：生活を支えるエネルギー	
<p>前章では、エネルギーにはいくつか種類があり、それらが変換される際には保存則が成り立つことを学習した。「5章 エネルギー資源とその利用」では、自分たちの実生活でのエネルギー利用の実態や課題について考えていく。本時は5章の第1時である。私たちのエネルギー消費の実態に触れ、そこから自分たちの興味に沿って問いを立て、それらを子どもたち自身で解決していく。</p>			
ねらい	※どのような見方・考え方を働かせて、どのような資質・能力を高めたいと考えていますか？		
<p>「生活を支えるエネルギー」についての資料から、自らで問いを立て、それを解決することができる。（学びに向かう力）</p>			
中心となる課題や問い	エネルギー消費の現状について、自分たちで疑問に思ったことや調べたいことを決め、自分たちで解決していこう。		
個を活かすための授業の工夫	子どもたちの自ら学ぼうとする姿勢を育むために、子どもたちがもった疑問を学びの出発点とする。		
生徒の学習活動			形態
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書 p.190～191 を読む。</li> <li>・疑問に思ったことや調べてみたいことを班で出し合い、班のテーマを決める。</li> <li>・自分たちの班のテーマをホワイトボードに1つ書いて発表する。</li> </ul>		個人 班 一斉
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新出語句の意味を確認する。（語句については教師が指定） 「化石燃料、枯渇性エネルギー、再生可能エネルギー」</li> <li>・自分たちの班のテーマについて調べ、ワークシートにまとめる。</li> <li>・調べ終わったら、ホワイトボードにその内容を板書する。</li> </ul> <p>☆もし疑問が出てこなかった場合は、以下のテーマの中から1つを選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇宙太陽光発電のメリットや技術的課題 (p.190 1.2)</li> <li>・産業革命でエネルギー使用量が増加した理由 (p.191 1.1)</li> <li>・「1日に23.0kWhの消費電力」って、他のものに置き換えるとどのくらいのエネルギー？ (p.191 1.3)</li> <li>・ウランってどんな物質？なぜウランは化石燃料ではないのか。 (p.191 1.11)</li> <li>・1人が1日に消費する電力量が、日本やアメリカで多いのはなぜか。 (p.191 図70)</li> <li>・日本はどのくらいエネルギーを自給できているか。</li> <li>・再生可能エネルギーの割合を増やせばいいように思うが、少ないのはなぜか。 (p.191 図71下)</li> <li>・「この割合は大きく変わっている」とあるが、どのように変わったのか。それはなぜか。 (p.191 1.32)</li> </ul> <p>※時間が余った場合は、新しいテーマを設定し、そのテーマについて調べる。</p>		班
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べた内容を発表する。</li> <li>・学習のあしあと（一枚ポートフォリオ）を記入する。</li> </ul>		一斉
評価の仕方	自分たちで課題を設定し、それを解決できたか。（ワークシート）		

メモ欄

参観者 書き込み欄

参観者

ねらい

※ねらいにせまれていましたか？

折  
り  
線

個を活かすための授業の工夫

授業スキル

良かったところ

改善した方が良いと感じたところ

感想